

平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	社会保障論A(Social Security A)		授業コード	E023301
担当教員名	鈴木 照夫		科目ナンバリングコード	E20916
配当学年	2	開講期	前期	
必修・選択区分	選択	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	社会保障論Bもあわせて受講することが望ましいです。			
受講心得	講義内容をしっかりとノートにとってください。 私語をしないようにしてください。 携帯電話等は電源を切って鞆の中にしまっておいてください。			
教科書				
参考文献及び指定図書	講義の進行に従って、適宜紹介します。			
関連科目	社会保障論B、社会福祉原論A・B、公的扶助論			

授業の目的	現在、わが国の社会保障制度は大きな変革期を迎えようとしています。本格的な少子・高齢社会の到来、女性の社会進出の一般化等の諸現象に対して、従来の社会保障の枠組みでは対応できなくなってきたからです。しかし、社会保障が国民の最低生活の保障と生活の安定を図るためになくはならない制度となっている現在、社会保障の制度内容が国民の知らない間に一方的に改変されてしまうというのでは困ります。このような事態を回避するためにも、現代社会に生きるわれわれは社会保障の制度内容について一定程度の知識を有していることが必要です。そこで、本講義では、社会保障の形成過程、範囲と規模、制度の体系、実施体制などの社会保障の基本的な枠組みの理解を第一の目的とします。ついで、各論としては、年金制度を取り上げ、社会保障制度を支える理念と具体的制度を学びます。また、現在進行中の社会保障改革についても、現行制度の問題点や改革のポイント、今後の課題を中心に考察します。
授業の概要	総論として、社会保障の形成過程、範囲と規模、制度の体系、実施体制などの社会保障の基本的な枠組みを説明します。各論としては、年金制度を取り上げ、社会保障制度を支える理念と具体的制度を学びます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：社会保障の概念・理念および憲法上の根拠 ILO(国際労働機関)の「社会保障」の捉え方、ベヴァリッジ報告書等を手がかりに、社会法の概念・理念を学びます。さらに、社会保障を基礎づける憲法上の規定との関連をみます。	ノート整理 配付資料
第2週：社会保障の歴史的発展過程 社会保障の歴史的発展過程を、前史といえる第2次世界大戦前の政策をみたうえで、戦後から現代にいたるまでの政策の歩みと動向を概観することによって、あとづけます。	ノート整理 配付資料
第3週：社会保障の制度構成 社会保障の制度構成は、単一の組織ではなく複数の制度の統合された組織となっています。また、社会保障制度に含める範囲は、国によって、また論者によって若干の違いがあります。この点を第1回・2回の内容も参考にしながら整理します。	ノート整理 配付資料
第4週：社会保障の機能 社会保障はその基盤となっている経済社会において、経済的、社会的に、さらには政治的に様々な機能を果たしています。それらのうち主要なものを解説します。	ノート整理 配付資料
第5週：社会保障の方法 社会保障の具体的制度をみると、拠出制と無拠出制とに分けて論ずるときがあります。これは、財源調達の手段をいうのですが、それにとどまらず制度の性格にも関係していますので、その由来と現状を考察します。	ノート整理 配付資料
第6週：社会保障の財政 社会保障制度と財政をめぐる諸問題について、「国民負担率」や「給付と負担」などをキーワードに解説します。	ノート整理 配付資料
第7週：社会保障の実施体制 社会保障の実行政体体制(中央政府、地方公共団体)とその社会的協力者(保険委員など)、保険料徴収行政事務などについて学びます。	ノート整理 配付資料
第8週：社会保障における年金制度の位置づけ	

老齢・障害は本人に、扶養者の死亡は被扶養者に、それぞれ長期にわたって収入の途を失わせるので、その生活を支えるための年金給付が必要となります。その中心となる公的年金制度の社会保障制度における位置づけを学びます。	ノート整理 配付資料	
第9週：わが国の年金制度の特色 2階建てとも3階建てともいわれるわが国の年金制度のしくみが、どのような特色をもっているか、その歴史的変遷も含めて、解説します。	ノート整理 配付資料	
第10週：年金制度の体系 わが国の年金制度の体系を、その歴史的変遷も含めて整理・解説します。また、その財政制度のしくみも学びます。	ノート整理 配付資料	
第11週：国民年金(基礎年金)の概要 1985年の公的年金改革によって、旧国民年金を改組して創設された全職業に共通の基礎年金制度について解説します。	ノート整理 配付資料 演習問題	
第12週：厚生年金保険の概要 公的年金制度において国民年金(基礎年金)とともに大きな地位を占める、民間労働者を対象とする厚生年金保険について解説します。	ノート整理 配付資料 演習問題	
第13週：その他の年金制度 公務員等の共済年金、企業年金等について解説します。	ノート整理 配付資料	
第14週：現行年金制度の問題点と年金改革(1) 急速な少子・高齢社会の進行にとまらぬ、現行年金制度は社会連帯による世代間扶養という原則が揺らぎつつあります。その問題点と現在進行しつつある政府の年金改革のポイントを解説します。	ノート整理 配付資料	
第15週：現行年金制度の問題点と年金改革(2) 前回示した政府の年金改革の問題点を考察し、代替案も比較検討しながら、今後の年金改革のあるべき方向を探ります。	ノート整理 配付資料	
第16週：期末試験 第1週から第15週までの内容について試験を実施します。	ノート・配付資料の整理	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	社会保障制度について、自らの身近な問題として考えることができる。
【知識・理解】	社会保障制度、特に公的年金制度についての基本的知識を身につけている。
【技能・表現・コミュニケーション】	社会保障制度、公的年金制度の意義についての的確に説明することができる。
【思考・判断・創造】	公的年金制度の課題について論理的に考えることができる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	10点			
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	70点			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	10点			
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	10点			
(「人間力」について) ※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	